

生田緑地に棲息していた大型テントウムシ 2 種カメノコテントウ *Aiolocaria hexaspilota* (Hope, 1831) とハラグロオオテントウ *Callicaria superba* (Mulsant 1853)

岩田臣生*・上路ナオ子*

A living record of *Aiolocaria hexaspilota* and *Callicaria superba*, in Ikuta-Ryokuchi Park, Kawasaki-city

Tomio Iwata*, Naoko Ueji*

はじめに

神奈川県におけるカメノコテントウ *Aiolocaria hexaspilota* (Hope, 1831) の記録は、これまで県西部に限られ、川崎市における記録はなかった。この理由として、カメノコテントウが大型のテントウムシで、ヤナギハムシ *Chrysomela vigintipunctata* (Scopoli, 1763) やクルミハムシ *Gastrolina depressa* Bali, 1859 などの幼虫を食べる昆虫であるためと考えられる。神奈川県ではヤナギハムシは既に極めて稀な昆虫で、絶滅危惧 II 類とされている。今回確認できたカメノコテントウ、ハラグロオオテントウ *Callicaria superba* (Mulsant 1853) は、国内最大級のテントウムシであり、どちらも川崎市で記録されていない (平野, 2004; 平野ほか, 2018) ため、採集はしなかったが、生田緑地の記録として観察記録を報告することにした。

観察記録

令和 4 年 3 月 19 日の里山倶楽部の活動において、常緑樹の伐採を行った時に、落葉の下から、越冬していたものと思われるカメノコテントウが現れたので、目撃記録として撮影した (図 1)。これは、茅ヶ崎市茅ヶ崎

野外自然史博物館顧問である岸一弘氏に、カメノコテントウであると写真から同定していただいた。そして、5 月 26 日に、然程離れていない木道上を歩いている幼虫を、上路が見つけて撮影した (図 2)。その後、6 月 16 日に、オニグルミに近い場所を観察していたら、カメノコテントウ成虫が見つかったので、改めて撮影した (図 3)。

カメノコテントウが捕食するクルミハムシは、オニグルミ *Juglans mandshurica* var.



図 2. カメノコテントウ *Aiolocaria hexaspilota* (Hope, 1831) 幼虫 (26-V-2022, 岩田撮影)



図 1. カメノコテントウ *Aiolocaria hexaspilota* (Hope, 1831) 成虫 (19-III-2022, 岩田撮影)



図 3. カメノコテントウ *Aiolocaria hexaspilota* (Hope, 1831) 成虫 (16-VI-2022, 岩田撮影)

*特定非営利活動法人 かわさき自然調査団

Kawasaki Organization for Nature Research and Conservation



図 4. ハラグロオオテントウ *Callicaria superba* (Mulsant 1853) 成虫 (16-VI-2022, 岩田撮影)

sachalinensis、サワグルミ *Pterocarya rhoifolia* Sieb. et Zucc.などのクルミの仲間を食害する昆虫である。生田緑地萌芽更新地区下には、持ち込みのオニグルミが繁茂しているので、これに発生したクルミハムシの幼虫を食べてカメノコテントウが棲息するようになったものと推測される。図3のカメノコテントウを撮影した時に、近くに、ハラグロオオテントウも見つけたので、撮影した(図4)。ハラグロオオテントウは、クワ科 Moraceae につくクワキジラミ *Anomoneura mori* や、クヌギ *Quercus acutissima* のヒコバ

エにつくクヌギクチナガオオアブラムシ *Stomaphis japonica* Takahashi などのアブラムシを食べるテントウムシである。クヌギなどを伐採した時、最初の萌芽枝には多数のアブラムシが吸汁する。このアブラムシを食べるテントウムシは、萌芽更新にとっては有難い益虫である。関東で見られるようになったのは最近のことで、地球温暖化に伴って北上している昆虫とされている。

謝辞

本稿作成に当たって、茅ヶ崎野外自然史博物館顧問の岸一弘氏には撮影個体の同定と、ご助言をいただいた。ここで感謝を申し上げます。

引用文献

- 平野幸彦, 2004. コウチュウ目. 神奈川昆虫談話会 (編), 神奈川県昆虫誌 II, 599-612. 神奈川昆虫談話会, 小田原.
- 平野幸彦・秋山秀雄・松原 豊・守屋博文・西川正明・野津 裕・高橋和弘・滝沢春雄・露木繁雄・渡辺 崇, 2018. コウチュウ目. 神奈川昆虫談話会 (編), 神奈川県昆虫誌 2018 II. 452-464. 神奈川昆虫談話会, 小田原.